

千葉大学医学部附属病院で手掌に生じたメラノーマで
受診された患者の皆様へ

2024年4月25日
皮膚科

日本人のメラノーマは非露光部の皮膚の領域（手掌、足底など）に多く発生します。遺伝学的解析によると、日光にあたりやすい部位の皮膚のメラノーマと異なり手掌、足底の病変ではほとんど BRAF 遺伝子変異との関連性がないなど、発症の誘因がまだ良く分かっていません。一方で足底のメラノーマは踵などの加重部位に多く発生するという報告が2016年になされており、機械的刺激が発症に関連すると考えられるようになりました。しかし手掌に生じたメラノーマはまだ同様の報告がありません。皮膚科では、手掌メラノーマの部位調査を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1985年4月1日～2024年3月31日までに当院皮膚科を受診された手掌のメラノーマの診断を受けた患者様

1. 研究課題名

「手掌メラノーマの部位調査」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当科を受診した手掌原発メラノーマの臨床情報（下記）を収集します。手掌メラノーマの部位を手掌に方眼紙を重ねた図のなかに記入し、各手指や手掌の領域の面積あたりの病変の個数について比較し、機械的刺激が加わる部位に多いか否かを判別します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、病歴、臨床情報（腫瘍厚）、皮膚科で保存している腫瘍の臨床写真およびダーモスコピー画像

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：皮膚科（講師）外川八英

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院皮膚科の鍵のかかる保管庫で厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

ご希望があれば、本研究について他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 皮膚科

講師 外川八英

連絡先：〔TEL〕 043-222-2505

〔FAX〕 043-222-2128